

高林 駿斗 外国語学部 中国語学科 2年

埼玉県私立東京農業大学第三高等学校出身
2023.4 拓殖大学入学
2024.9 交換留学(中国)派遣



留学生寮一階のカフェスペース

留学先に適している天津外国語大学

【研究先について】

私が留学した天津外国語大学は天津の中心地に位置しており、生活必需品は全て近くの大きなスーパーマーケットで揃えることができます。朝昼晩の食事は食堂で食べるのが基本です。三階建一棟全てが食堂で種類が豊富で飽きることがない程のメニューがあります。留学生は留学生寮に寝泊まりをします。留学生寮の一階はカフェスペースとなっており、そこでの留学生同士の交流が頻繁に行われています。またカフェスペースには中国人の本科生も入ることができ、中国語のネイティブとのコミュニケーションも取ることが出来ます。

【学校生活について】

学期の始まりにクラス分けテストがあり、自分の中国語能力にあったクラスで中国語を学べます。週に八コマ、一コマ100分間の授業時間で、一限は朝八時からです。精読やリスニングや作文の授業など豊富な中国語の授業を受けることができます。私のクラスは23名のクラスメイトで構成されていて、色々国からの留学生たちと一緒に授業を受けることができます。放課後はクラスメイトと一緒に夜ご飯を食べに行くことが多かったです。また、週末は学生寮でのんびりすることもできるし外に友達と散歩に行くことも出来ました。また学校内に図書

館があり、テスト期間中はそこで勉強をする事ができます。

【研修を通して得たことと、その成果を今後の

学生生活や社会へどのように還元するか、について】

この留学を通して、語学力の向上だけでなく、中国の文化や価値観、人々の生活様式について深く理解することができました。特に現地の学生や住民との交流を通して、教科書では学べない「生きた中国語」と、その背景にある文化を体感できたことが大きな収穫です。

また、異文化の中で生活することは、困難も多くありました。授業に中々ついていけなかったり、やはりリスニングがどうしても伸びなかった事があり、それらを乗り越える中で自立心や柔軟な対応力を身につけることができました。さらに、自国との違いを意識することで、日本の良さ逆に日本の改善すべき点に目を向けられるようになりました。

今後は、留学で得た語学力や異文化理解力を活かし、大学での中国語の学習をさらに深めるとともに、後輩や周囲の学生にも自分の経験を伝えていきたいです。そして将来、社会に出たときには、国際的な視点を持って多様な価値観を尊重できる人材として貢献していきたいと考えています。



クラスメイトと食べたご飯



クラスメイトとの最後の授業